

事業活動の方向性と取組

公民館	現 状 と 課 題	改 善	方 向 性 と 取 組
中央	<ul style="list-style-type: none"> ・進行する利用者の高齢化に伴う生涯学習活動団体の解散及び休止 ・コロナ禍における事業の中止及び参加者の減 ・コロナ禍における地域団体との共催事業の相次ぐ休止 ・要望の多い施設のハード面の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS等新たな媒体による事業の周知拡大 ・利用の少ない男性向け事業の実施(中央地域包括支援センター共催) ・共催事業の再開 ・新たな生活様式に基づく事業の在り方の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・若年齢層向けの事業の企画検討 ・新たな生活様式に基づく事業の企画検討 ・新たな生活様式に基づく事業形態の調査研究及び当館独自の取組の模索
永山	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館利用者数が著しい減となった。 ・多様な学びの場の充実を図ることが求められている。 ・障害のある方など多様な人々が学べる環境づくりに取り組む必要がある。 ・ICT環境が、十分に整っているとは言えない。 ・各種団体が、学習成果を還元する場が乏しかった。 ・内容がマンネリ化 ・施設設備等の老朽化が進んでいる。 ・インターネット接続設備が未整備。 ・世代間交流など学校等との連携・協力事業を行うことができなかった。 ・地域住民の交流の場としての公民館の役割を十分に果たすことができなかった。 ・PR不足の感がある。 ・永山地域の子育て支援センターの事業 ・開放事業として、大ホールを軽スポーツ用として、定期的に開放し、多くの方に利用されている。 ・地域の伝統文化について理解を深める事業が求められている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規に旭川高等専門学校の派遣講師による出前講座を実施した。 ・中学生、小学生向けを軽スポーツ会場として開放しているが、拡大。 ・「学習室開放」を実施、学生ボランティアによる学習支援を行った。 ・旭川大学短期大学部幼児教育学科佐々木ゼミと連携し、子育てサロンの運営に参画。子育てサロンの内容が魅力的になった。 ・このことは、連携した学生のいきた学びの場となったと考えている。 ・子どもから大人、障害の有無に関係なく誰もが楽しめるポッチャ体験会を、パビリニック開催の年に共催事業として実施。 ・IT学習用に全公民館共用の「Speed Wi-Fiホームルーター」を導入。パソコンサークル等に対し積極的使用を促した。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止策「新北海道スタイル」を実施し、公民館利用者への周知図った。 ・コミュニティ「はんなり」に公民館事業の周知を行うように新たに掲載依頼 ・公民館事業周知のチラシを備え置きしてもらうなど公民館事業への参加を促した。 ・永山地域文化振興実行委員会と、公民館で、連携を図った事業について検討を行った。 ・「人々の生活や命を守る」防災について、親子講座を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館では、新型コロナウイルス感染拡大防止策「新北海道スタイル」を継続して実施する ・学習室開放について、夏・冬休み中間期間に、複数日開催する。夏休みは、開放期間を延長する。 ・市民がボランティア等で積極的に活動を開始する契機となる講座について、企画を行う。 ・共生社会の実現に向けて、障害者スポーツ体験の取組を継続する。障害のある方にも、公民館事業に参加していただける事業内容を検討する。 ・連携を図り、情報収集に努めていく、父親が参加しやすいよう土曜日又は日曜日開催などについて関係団体と協議を行っていく。 ・永山児童センターでの子どもを対象した「キッズクラブ」との連携を図り、魅力ある青少年を対象とした事業を実施していく。 ・ICT機器を活用した学びの事業展開について、事業準備を行っていく。 ・青少年を対象に、新たなSTEAM教育に係る事業展開を検討していく。 ・インターネット接続設備の設置については、利用者からの要望が特に多く、IT講習など今後の公民館事業にも係わることから、予算要求を継続する。
東旭川	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの関係で、開催の可否を検討しながら事業を行うこととなった。 ・施設の利用運営状況は満足されているが施設の補修や設備の更新等が必要な時期となってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの事業は中止の判断をし、実施した事業についても、感染予防対策を考えながらの実施となった。 ・施設の補修や設備の更新が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度についても、新型コロナウイルス感染予防対策を講じた上で、学習機会の提供、人材育成と自主的な活動の支援ができる事業を実施する。 ・地域学校協働活動のモデル地域となっていることから、公民館として何ができるかを検討していく。

公民館	現 状 と 課 題	改 善	方 向 性 と 取 組
神楽	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止対策を講じながら、地域団体と連携し、まちづくりの拠点としての機能が求められている。 ・地域の保育所・中学校等との共催事業の中止。 ・開放事業として、木楽輪でのピアノ開放、講堂での卓球開放など、多くの方に利用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者サロンや学習支援など地域団体との共催でまちづくりに関わる事業に取り組んだ。 ・サークル体験事業において、新規会員の加入促進についての支援に取り組んだ。 ・設備等の更新が必要な時期となってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携を強化し、人づくり・地域づくりに関わる事業展開を進めていく必要がある。 ・引き続き施設の適正な維持管理を行っていく。 ・公民館報等を作成し、地域住民などに対し広く周知を行っていく。 ・引き続き、公民館の掲示版及びホームページ等によりサークル団体を紹介するとともに、サークル体験会・見学会を実施し、サークル活動の支援と会員の増に努める。 ・フォーラムの参加者が少ないため、アンケートの意見を今後も参考にしていく。
末広	<ul style="list-style-type: none"> ・例年の課題でもあるが、地域の実情や住民の学習ニーズの把握が難しく、新規事業の開催に苦慮している。 ・無料講師の発掘が喫緊の課題 ・施設の老朽化が進んでいる。 	<p>実施できる事業については、感染防止対策を施し、定員を減らして実施するよう形となった。・受講者講堂と研修室のイスを軽量なものと交換した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で、あまり参加者が集まらない中、地域の課題や学習ニーズの把握が難しい状況であるが、多様な学習機会の提供を図るためにも、地域の実情や住民の学習ニーズの把握に努め、既存事業の見直しを行う。また、新規事業の開発も図る。 ・事業のスクラップアンドビルドを行っていく学習する講座について意見があった「ごみ分別・減量講座」、「親子陶芸教室」の募集期間中に市民から「大人向けの陶芸教室はないか」との問合せがあったことから実施することとした大人対象の陶芸教室「おとなの陶芸教室」などを実施する予定である。今後も地域の課題や学習ニーズを把握しながら事業を実施していく。 ・備品の軽量化等に取組む。 ・公民館が地域住民に積極的に活用されるよう、施設利用者の要望や地域の課題、学習ニーズの把握に努める。 ・地域の課題や学習ニーズの把握においては、地域フォーラムや各講座実施後のアンケート等を活用するとともに、まちづくり推進協議会や地域包括支援センターなどの関係機関と連携しながら進めていく。
江丹別	<ul style="list-style-type: none"> 一般利用はほとんどなく、地域の各種団体の利用で固定化されている状況にある。 ・公民館事業に関わる支援団体のメンバーの後継者不足。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「小中学生」に限定していた参加条件を「幼児から」また「小学生以上」と広げるなど参加者確保の工夫に取り組んだ。 ・フォーラム開催にあたり、地域と関連のある民間企業などに呼びかけ、参加者を確保することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施事業の検証(参加動向)、長期継続・マンネリ化・目的を一定程度果たしている事業の廃止や内容の見直しに取り組む。 ・公民館と地域住民との距離が近いことを生かし、ニーズの把握、情報交換などにより事業立案への反映と内容充実に取り組む。

公民館	現 状 と 課 題	改 善	方 向 性 と 取 組
東鷹栖	<ul style="list-style-type: none"> ICT環境が、十分に整っているとは言えない。 家庭環境支援及び青少年教育の事業が少ない。 障害のある方など多様な人々が学べる環境づくりに取り組む必要がある。 公民館事業の周知がなされていない。 令和3年度をもって公民館内に設置してあった「地域子育て支援センター」が移転した。(このことにより、今後乳幼児やその保護者の利用が減少するとおまわれる。) 東鷹栖地域の伝統文化について、理解を深める事業が途絶えている。 開放事業として大ホールを軽スポーツ用として、定期的に開放し、多くの方に利用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各室に消毒薬を完備し、冬期間も換気のため扇風機を設置するなど、安全面をアピールして団体の利用を促進した。 分館を含め施設の不具合箇所の修繕を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民委員会や町内会等の新型コロナウイルスの影響を恐れ、利用を控える団体にも安心できる感染対策をはかり、徐々に事業を増やしていく。 IT学習用に全公民館共用の「Speed Wi-Fiホームルーター」を導入した。今後ルーターを活用した事業を検討する。 青少年を対象に、新たなSTEAM教育に係る事業展開を検討していく。 障害のある方にも、公民館事業に参加していただける事業内容を検討する。 引き続き施設の適正な維持管理を行っていく。 公民館報等を作成し、地域住民などに対し広く周知を行っていく。 公民館事務室前の掲示版によりサークル団体を紹介するとともに、サークル体験会・見学会を実施し、サークル活動の支援と会員の増に努める。 フォーラムの参加者が少ないため、アンケートの意見を今後も参考にしていく。 東鷹栖地域内の保育所、幼稚園、小学校、中学校等に情報提供を行い、公民館事業等の周知を図っていく。 末広・東鷹栖地域包括支援センターと連携した事業の構築を検討する。
神居	<ul style="list-style-type: none"> 参加者アンケートから親子参加型事業のニーズが高い傾向にある。 事業や各種講座のPR用 地域の高齢化が進み、独居老人世帯も多く、話相手や交流できる場が欲しい等の相談が増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> 可能な講座は延期により開催した。 参加者からの感想等を載せることで一層PR効果を加味し、少しでも臨場感が感じられるよう情報発信を行った。 生涯学習活動団体の活動を広くPRするため、定期的にサークル体験見学会、新規会員加入促進の支援を行った。 高齢者の交流の場としてのサロンを開催し、保健師による健康相談や軽体操、ミニゲーム等を催し、今後も交流支援を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 親子が一緒に楽しめる講座や事業について、自然を満喫出来るような農業体験講座、木工教室、及び調理が楽しくなるようなスイーツやパンづくり等を企画し、青少年が気軽に足を運べるような「楽しい公民館」づくりに取り組む。 「公民館だより」については、これまでの各町内会への回覧から、地域の集会所(住民センター、地区センター、児童センター等)への配置に変更し、学び等に関心のある来館者等に公民館事業のPRを図る。 地域ボランティアを要請する講座(地域ボランティア養成研修会)を開催し、地域の高齢者等の悩み、困りごと等に対しての支援に取り組む。 引き続き手指消毒、備品消毒及び定期的な換気等感染対策を徹底し、各種講座等参加者の安全安心に取り組む。
北星	<ul style="list-style-type: none"> 開催の可否について判断したが、2、3か月先の状況が見通せず判断が難し 利用者は施設・運営には概ね満足しているが、登録団体数、利用者数は減少傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> 3密を回避するため、 「こども食堂」は1、2月は弁当の配布のみとした。 「はらべこッキング」は7月は定員を午前午後各8名とした。 「地域づくり勉強会」は講義の後半に行う体操を取り止めた。 「百寿大学」はA組、B組を午前、午後に分けて実施した。 3密を回避するため、会場を大きな部屋に変更したり、受講者数を制限した。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育支援については、引き続き子育て支援センターちゅうりっぷとの連携を図っていく。 「放課後の自習室」については教育大学川邊先生の協力を仰ぎながら、今後も継続できるよう講師の確保に努める。 高齢者事業では地域包括支援センターとの連携を密にし、高齢者のニーズに合った事業を実施する。 地域包括支援センターと連携し、高齢者の生活の質向上、認知症予防に関する事業を実施していく。
新旭川	<ul style="list-style-type: none"> 登録団体会員の高齢化、コロナ禍における行動制限の影響から解散や活動を休止する団体が増えた。 近隣に地区センターや福祉センター 一般開放の利用者数は増加傾向であるが、個別では特定の室に偏っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業開催時期や時間帯、募集人数など駐車スペースに不便が生じないよう見直しを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動を休止している団体の状況を把握し、再開に繋がる支援に取り組む。 前年度、感染リスク回避のため全ての開催を見送った子育てサロンの再開を主催者と協議する(10月以降の再開で協議中)。 一般開放で利用者数の少ない室の開放日の見直しや開放時間の延長により利用傾向を検証する。

公民館	現 状 と 課 題	改 善	方 向 性 と 取 組
愛 宕		<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生向けの新規事業を実施するとともに、土・日開催を増やすことにより若い世代である保護者の参加が得られた。 ・従来からの高齢者向け健康講座の開催回数、内容の充実を図り、延べ参加者数が増加した。 ・文化祭を中止したが、ミニ文化祭を実施したことにより一定の交流が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年が気軽に足を運べるように取り組む。
東 光	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい事業の構築やボランティアの育成が進んでいない。 ・駐車場・冷房設備・トイレの様式化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市・民間とも受け入れを断られる中、新庁舎建築現場の見学を建築部及び建築業者の協力により実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習活動団体の活動紹介の機会をより多く設ける。 ・利用団体連絡協議会と実施に向けて取り組んでいく。
西 神 楽	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育支援や青少年教育に力をいれたい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・新規事業が出来なかったので積極的に取り入れたい ・フォーラム内容を検討する。 ・協働事業・各事業の新規企画の取り組み(若い世代と高齢者の融合)
春 光 台	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の再開実施のめどが立たない状況である ・男性の方の参加を促すことが大きな課題である。 ・今回のコロナ禍にともない地域のネットワークづくりにおいてこれまで取り組んできている活動の殆ど停止している状況であり、いつ再開実施できるのか不透明な状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・30団体それぞれのサークル活動を紹介するシートを作成し、来館者が見て興味を持ち入会を促すように、館内に掲示をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染リスクの低いと思われる事業から、できる範囲で再開をしたい。 ・今後も、地域住民に対して新たなサークルの創設やサークル会員募集に向けて、公民館だよりや館内掲示などをとおしてサークル活動や主催・共催事業の参加を促すような取り組みに努めていく。
事 業 係	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策のため百寿大学とシニア大学の講座数を概ね半数とした他、活動時間帯を半日とした。 ・百寿大学・シニア大学の入学者数は、人数制限を下回って減少している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度まで中止としていた1000人の合唱やサークル合同発表会藤の事業を感染対策に努めながら実施する計画。 ・シニア大学・大学院は、十分な学習の機会を確保するため、履修期間を令和4年度までの2年間とした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シニア大学のカリキュラム・講座メニューを今年度中に見直し令和5年度に実施する。 ・減少傾向にある百寿大学・シニア大学について、在籍者の年齢構成や地域の特性などに視点を置いて分析する。

委員からの主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・現状把握をしっかりと、多くのものをスタートさせるため変えていく。 ・参加要望の多い事業は地区公民館で輪番するなえど複数回の実施を。 ・公民館の移動講座など増やして欲しい。 ・高齢化や会員減少により活動困難になったサークルに寄り添って欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学びを継続するため、感染対策しながら極力、対面で事業実施を。 ・学校と社会教育が一体になり進めるための議論が必要。 ・公民館がボランティアする方と「受け手」を繋ぐ役割を持って欲しい。 ・感染対策を講じながら、通常の事業の実施が可能な方法の検討を。
-----------	--	---